

100年続く電車内痴漢犯罪を、**学生の手で解決!**

痴漢抑止バッジ デザインコンテスト2017

〈募集期間〉

2017.8.1(火)

→ 9.20(水)24:00

作品募集!



最優秀賞: 5万円 (1作品)

優秀賞: 2万円 (2作品)

特別審査員賞: 1万円 (2作品)

受賞作品は
製品化いたします!



一般社団法人
痴漢抑止活動センター

「痴漢抑止バッジプロジェクト」 目標

誰にとっても、安心安全な車内

性犯罪を許さない社会

痴漢抑止バッジとは



1年間、痴漢被害に遭った
女子高校生が考案

痴漢被害
に
遭わない

加害者
が
生まれな
い

痴漢冤罪
も
起きない

誰も、傷つかない解決策

痴漢抑止バッジ スペック



- 2016年3月製品化
- サイズ：直径57mm
- 安全ピン／クリップ併用
- デザイン：5種類
- 価格：500円（税込）



防犯イラストマニュアル付き



*埼玉県警が配布する「チカン撃退マニュアル」を参照して製作



パッケージサイズ：A7（74 × 105 ミリ）

リーフレット：外4つ折り。

- ・痴漢にあわない安全な乗車方法のアドバイス*（2～3 P）
- ・協賛企業のメッセージ（4 P）

デザイン：キタイミコト

痴漢抑止バッジ 取扱店

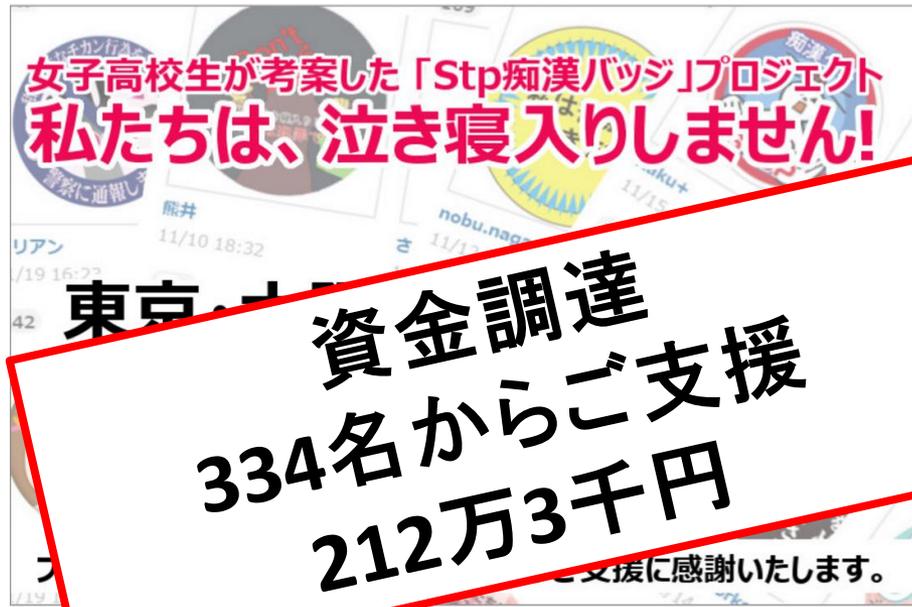


2016年10月～
イトーヨーカドー
津久野店

2017年2月～4月
イオン 10店舗

2017年3月～
南海電鉄 アンスリー
20店舗

■2015年 クラウドファンディング × ソーシング



100年前から続く「電車内痴漢犯罪」

1912年(明治45年) 東京・中央線に「婦人専用電車」導入
痴漢犯罪や電車内で女学生をナンパする男の人がいたために導入。
女性専用車両は、何度も廃止・導入を繰り返して現在にいたる。

1918年11月23日『読売新聞』朝刊第四面「女学生だより」
「痴漢に遭ってすごい悔しい、恥ずかしい思いをした」という投稿

1920年代 作家・平林たい子の回顧談

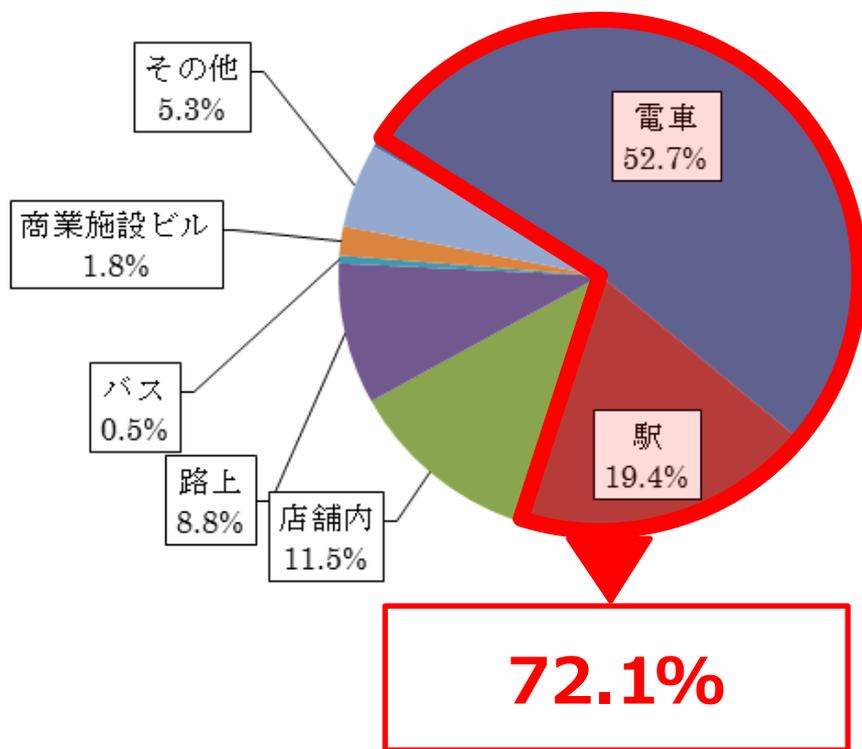
「東京に来て驚いた、東京はやっぱり都会だなあと驚いたのは電車内で痴漢に遭った時だった」

参照：「痴漢抑止バッジの挑戦」P63

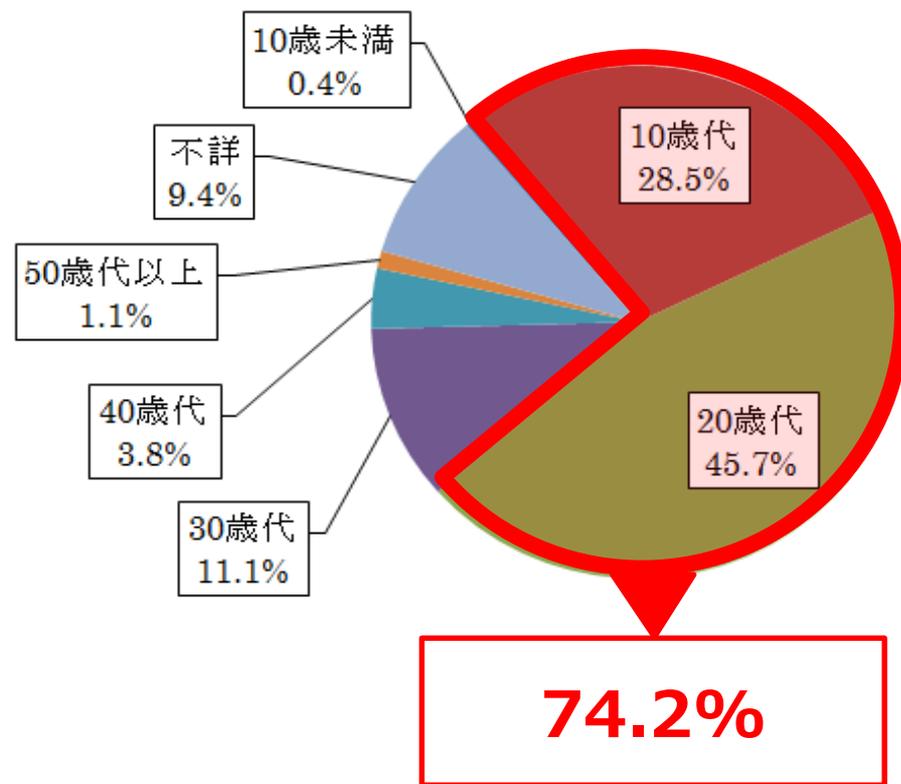
出典：「痴漢」の文化史ー「痴漢」から「チカン」へ，岩井茂樹，日本研究，(49) 147-181，2014年03月，学術論文

都内における迷惑防止条例違反（平成28年）

場所別発生状況



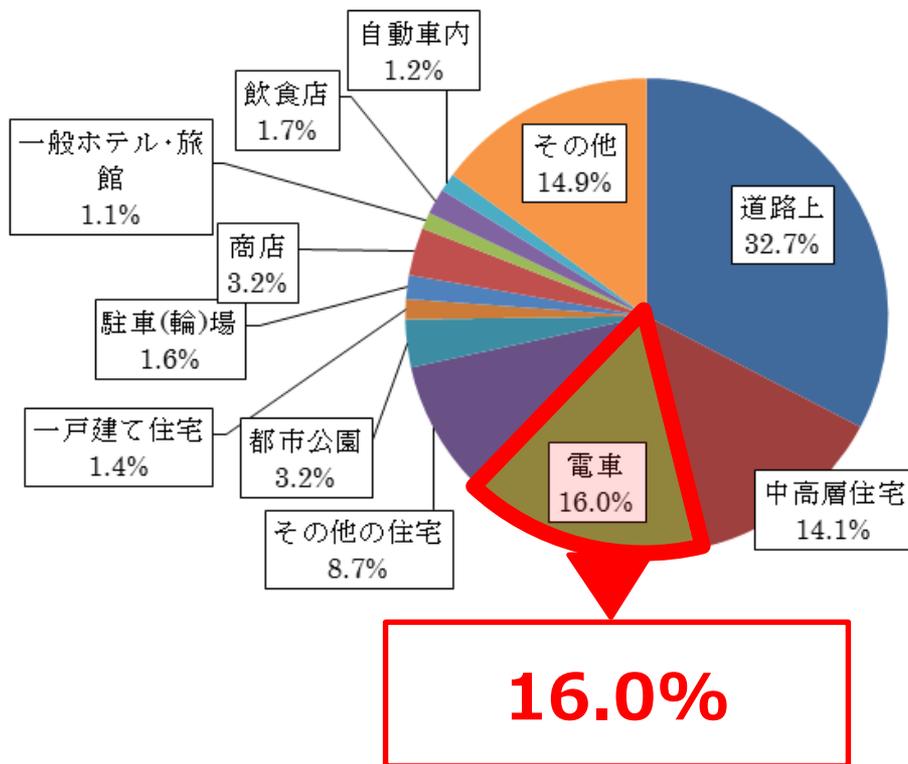
年齢別被害状況



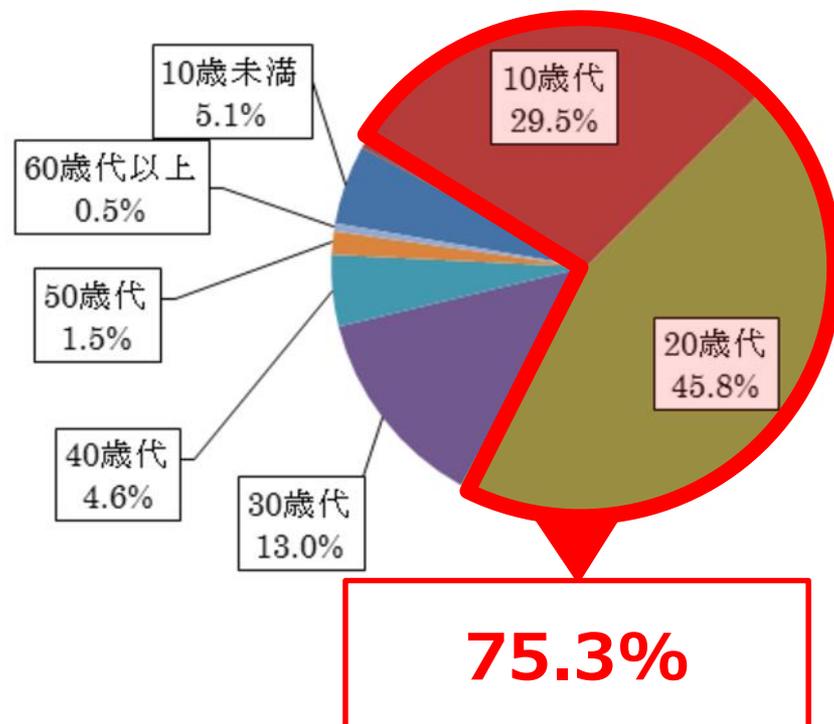
※警視庁「こんな時間、場所がねらわれる」 <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

強制わいせつの場所別発生状況

場所別発生状況

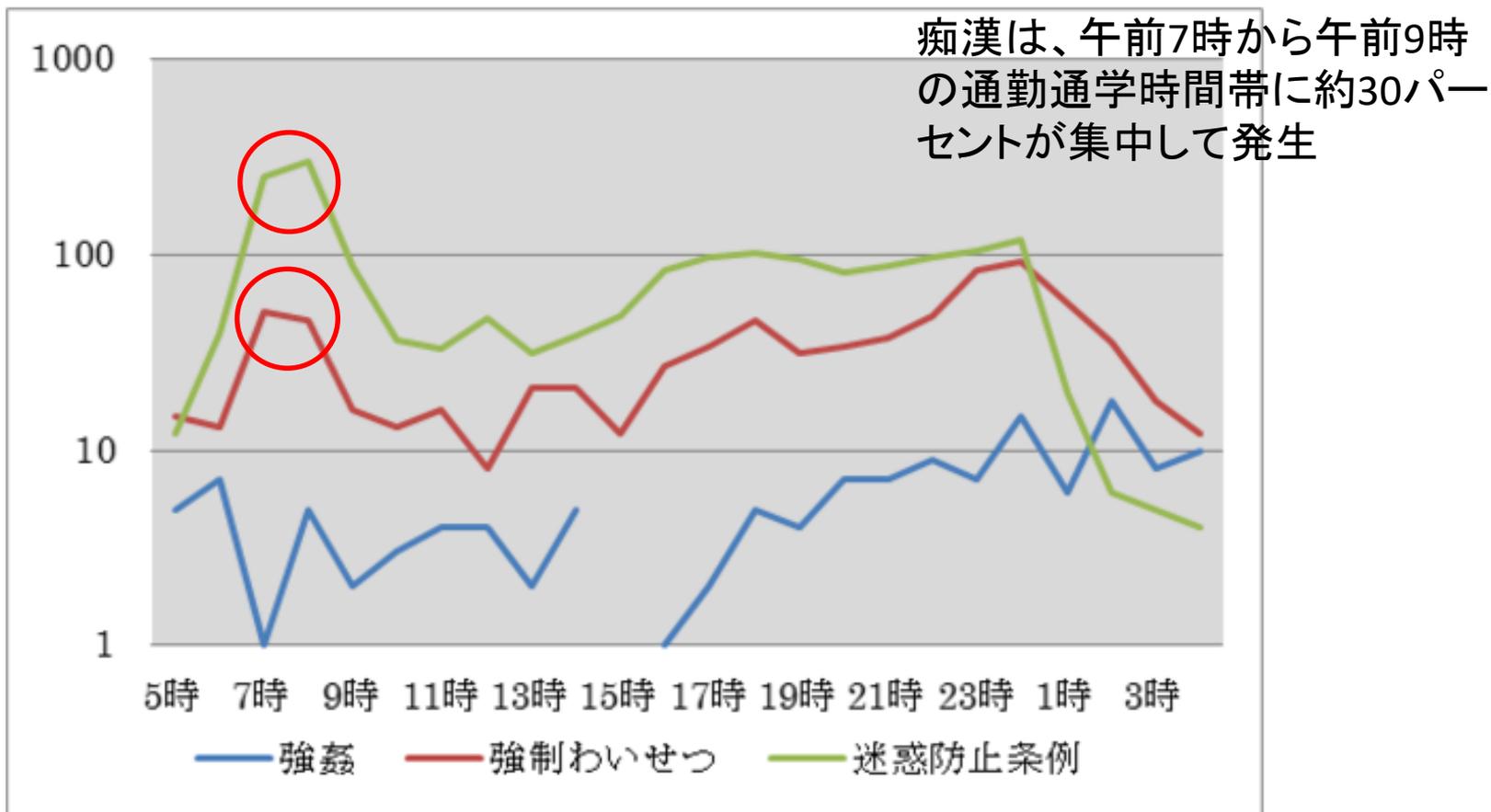


年齢別被害状況



※警視庁「こんな時間、場所がねらわれる」<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

強制わいせつの場所別発生状況



※警視庁「こんな時間、場所がねらわれる」 <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

電車内痴漢行為

子どもへの性的虐待



**大人が
黙認**

電車内痴漢対策の課題

- ラッシュ時以外にも痴漢はいる
- 警察が未然に防ぐのは非現実的

都内昼間人口
1558万人

都内警察官 4.5万人



傍観者の意識改革

解決策：痴漢抑止バッジ



- 痴漢抑止バッジの配布・販売
➡ 被害者を守る



- デザインコンテスト
➡ 10年後の社会を変える

■デザインの力で社会を変える



痴漢抑止バッジデザインコンテスト 対象者



デザイナーを志す学生
被害者と同世代の感性
自分ごととして、捉える



10年後
の
社会へ

ジェンダー意識の高いデザイナー育成
社会に発信する情報の変革

1次審査 中学生・高校生の参加



芦屋学園高等学校



松蔭女子学院

自分達で痴漢問題を解決するという意識
先生や保護者に被害の相談がしやすくなる



10年後
の
社会へ

自分の身を守れる子ども
子どもを守れる大人

2次審査 一般投票



2016年 あべのハルカス 縁活ウォールギャラリー

10代の子どもの痴漢被害にあっている現状を周知

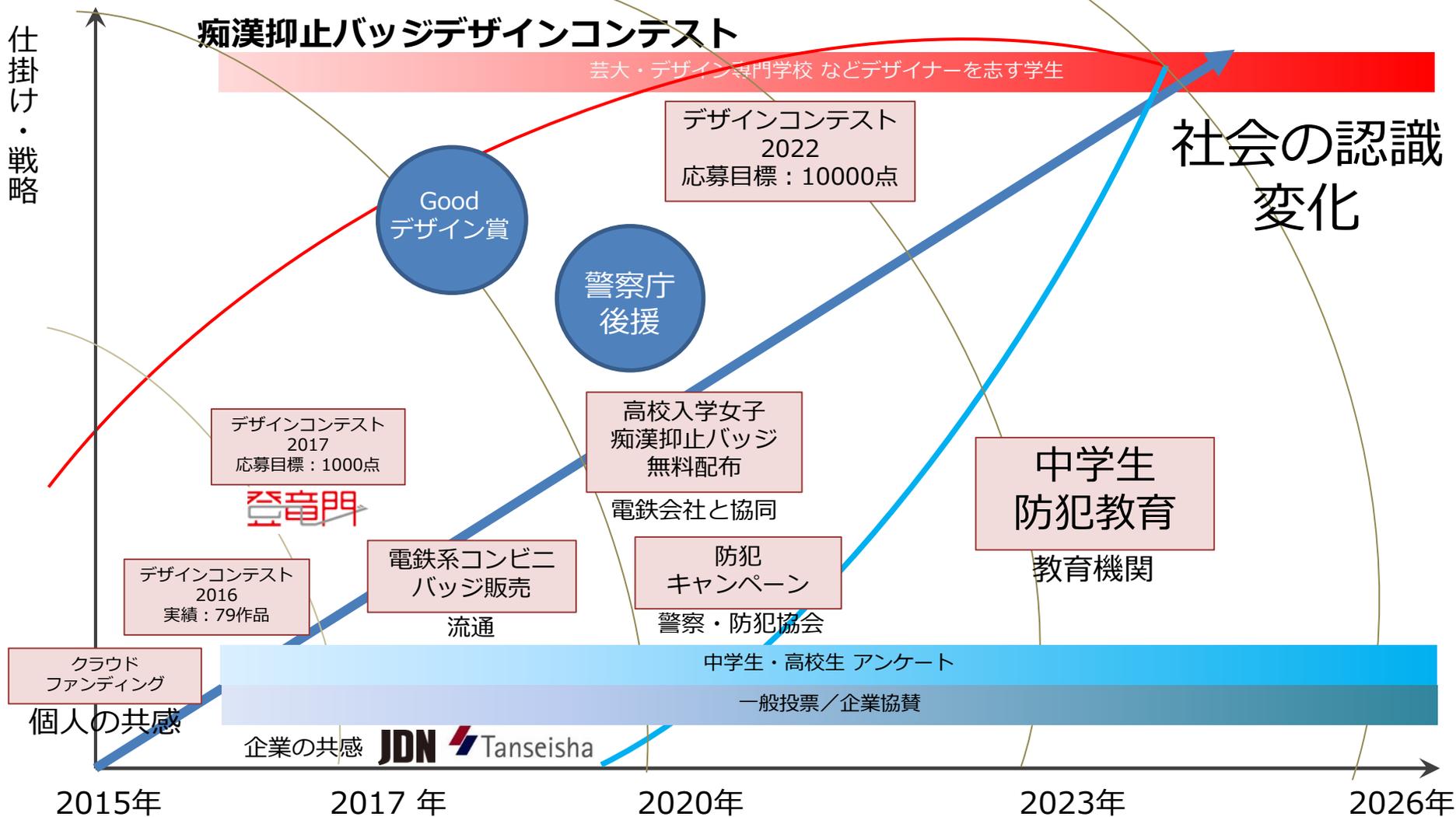


10年後
の
社会へ

誰もが安心・安全な車内
性犯罪を許さない社会
社会が、子ども性的虐待から守る

痴漢抑止活動ロードマップ

仕掛け・戦略



■ 2017年コンテスト概要（1）

- テーマ
 - 公共交通機関における痴漢抑止を目的としたバッジデザイン
- 公募期間
 - 平成29年8月1日（火）～9月20日（水）
- 対象
 - デザイナーを志す学生
- 審査員
 - キタイミコト（イラストレーター）
 - 痴漢抑止バッジデザインコンテスト委員会

■ 2017年コンテスト概要 (2)

□入賞した5作品は製品化、販売

□1次審査通過作品展示

2017年11月8日(水)～27日(月) ※投票期間は8日～19日

あべのハルカス近鉄本店ウイング館5階

ウォールギャラリー

□授賞式

2017年12月

駅ナカ・駅チカ店舗での販売

- 痴漢抑止バッジを必要とする人が購入できる
 - 女子中高生
 - 保護者
- 加害者が痴漢抑止バッジを知る
 - 痴漢を許さない社会の周知

社会で子どもを守る



社会が、子ども達を性犯罪から守る

誰にとっても、安心安全な車内
性犯罪を許さない社会



プロジェクト連絡先

【団体名】 一般社団法人痴漢抑止活動センター

【HP】 <http://scb.jpn.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbproject/>

【Twitter】 https://twitter.com/scb_info

【e-mail】 info_scb@scb.jpn.org

【プロジェクト代表者】 松永弥生

〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

電話：06-7898-7808 FAX：06-7635-7631

スライドのダウンロード

- http://prt.nu/0/20170731_scb
(2017/8/6 12:00まで)

